



国土を **整** え、全力で **備** える
国土交通省
中国地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau



お 知 ら せ

記者発表資料 平成 3 1 年 3 月 2 6 日

<資料提供先>

合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

社会実験期間中、国道 3 1 号の渋滞が半減しました！！ ～『通勤交通強靱化に向けた取組み』社会実験の効果検証結果～

平成 3 1 年 2 月 2 6 日～2 8 日に実施した、「通勤交通強靱化に向けた取組み」社会実験について、効果検証結果を報告します。

社会実験参加者数最大の 2 月 2 7 日（水）は、社会実験前週の 2 月 2 0 日（水）と比較して渋滞長※1が半減しました。※1渋滞長：旅行速度が 20km/h 未満の連続する区間

今回の『社会実験』の結果を踏まえ、関係機関と協同し、住民への浸透・定着を目的に、まずは、今年 7 月の『実地訓練』の実施に向け準備を進めていくとともに、都市圏の交通マネジメントの方向性について、今後も検討を進めてまいります。

- 社会実験前週 2 / 2 0（水）渋滞長 約 2. 4 k m
- 社会実験期間 2 / 2 7（水）渋滞長 約 1. 2 k m（半減）

（参考）「通勤交通強靱化に向けた取組み」社会実験

参加機関数 1 2 機関
3 日間のべ参加者数 2 3 1 名※2
（2 / 2 7 参加者数 8 1 名）

※2 実験時自主的に参加されている方は含んでいない

主な取組み 時差出勤、徒歩・自転車出勤、
公共交通出勤、相乗り出勤

企業の皆様 ご協力ありがとうございました！

○問い合わせ先

●国土交通省 中国地方整備局

（担 当）道路部 道路計画課長 吉田 真人（内線4211）

T E L 0 8 2 - 2 2 1 - 9 2 3 1（代表）

T E L 0 8 2 - 5 1 1 - 6 3 0 1（夜間）

●呉市 （担 当）都市部 交通政策課長 橋村 隆彦

T E L 0 8 2 3 - 2 5 - 3 2 3 8（直通）

○広報担当窓口

国土交通省 中国地方整備局 広報公聴対策官 岩下 恭久（内線2117）

企画部 環境調整官 井上 和久（内線3114）

社会実験の概要

- 呉市内の企業等にご協力いただき、2月26日～28日(3日間)にマイカー通勤を控える、「通勤交通強靱化に向けた取組み」社会実験を実施。
- 12機関、3日間のべ231名※にご協力いただき、マイカー通勤抑制による国道31号の渋滞緩和を検証。
※実験に自主的に参加されている方は上述の数値に含んでいない。

■ 社会実験の目的

- 平成30年7月豪雨時の渋滞を繰り返さぬよう、自動車に過度に依存しない通勤を平常時から意識付ける。
- 呉エリアでマイカー通勤される方にご協力いただき、公共交通機関や自転車での出勤、相乗り出勤、時差出勤等により、呉エリアの交通渋滞に与える影響を検証。

■ 参加事業所数・参加者数

- 参加機関数：**12**機関
- 参加者数：3日間のべ**231**名
(2月26日：76名、27日81名、28日：74名)

※実験に自主的に参加されている方は上述の数値に含んでいない。

■ 協力機関に提示した主な取組みと参加者数

- 時差出勤：**44**名
- 徒歩・自転車出勤：**18**名
- 公共交通出勤：**18**名
- 相乗り出勤：**19**名

※重複する取組(時差出勤+相乗り出勤等)を実施している参加者がいるため、全体の参加のべ人数とは一致しない。

注1) 参加人数は実験3日間の延べ人数。

注2) 参加人数および取組みは社会実験前の意向調査時に把握した予定の人数・取組み。

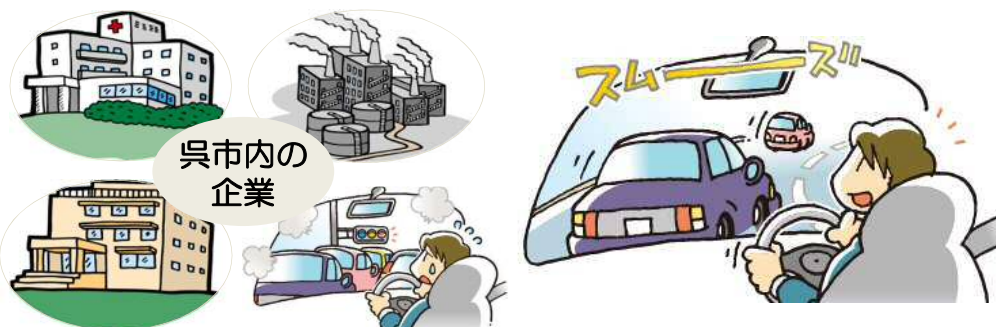
■ 社会実験のイメージ

現況

- 朝の通勤通学時間の渋滞
- 公共交通の利用者減少
- 増加するCO₂排出量
- 災害時の自動車依存と企業活動の停滞



社会実験期間中



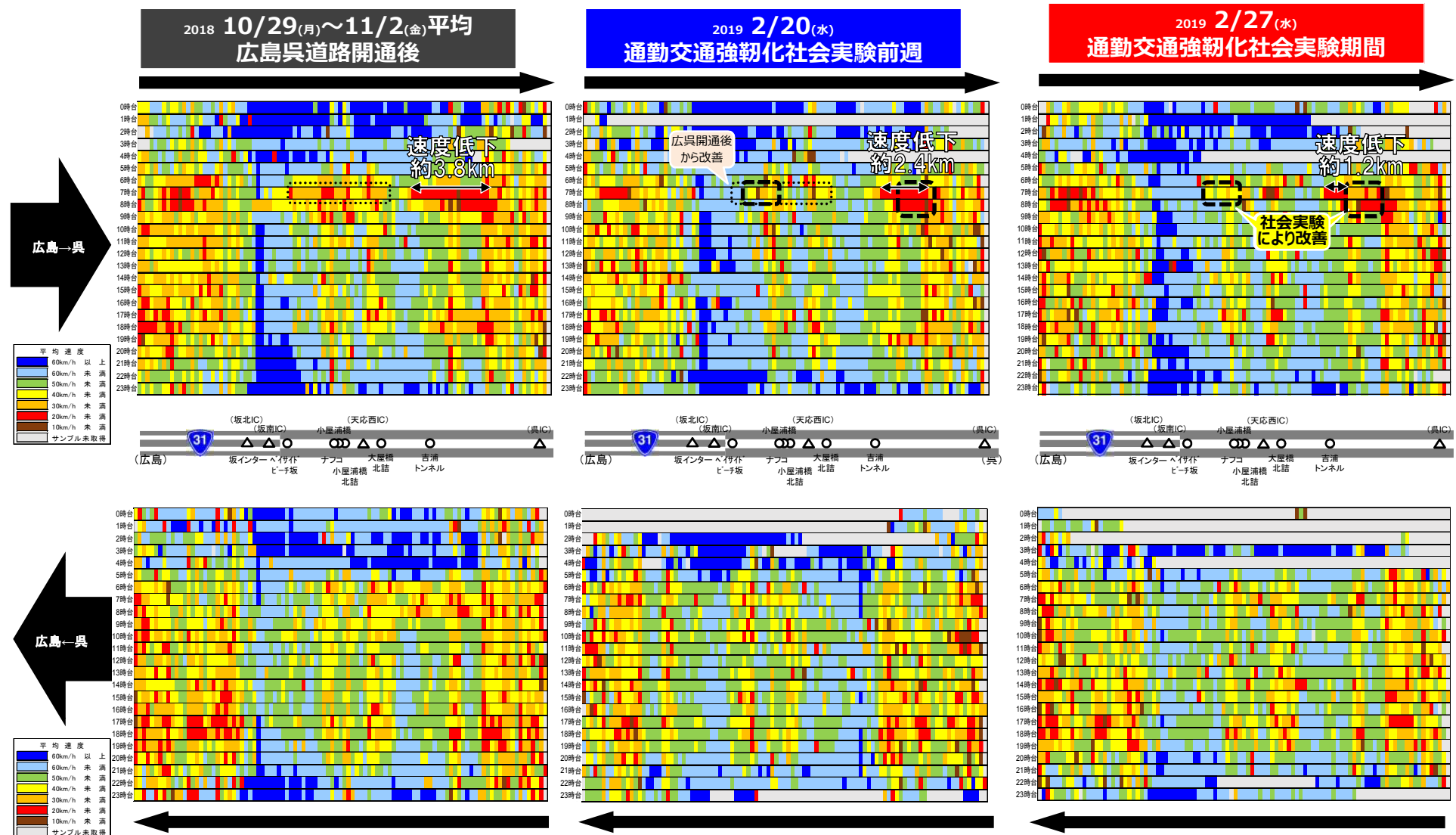
「できることから」「できるペースで」
「できる人から」「やりやすく」…

- 従業員への呼びかけ
- 時差出勤
- ノーマイカーデー
- 通勤バスの導入 等



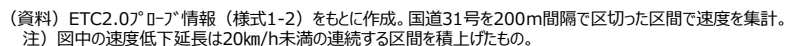
国道31号の速度水準の変化

- 社会実験参加者数が最大だった2/27(水)は、7時台の速度低下が社会実験前週と比較して半減(約2.4km→約1.2km)。



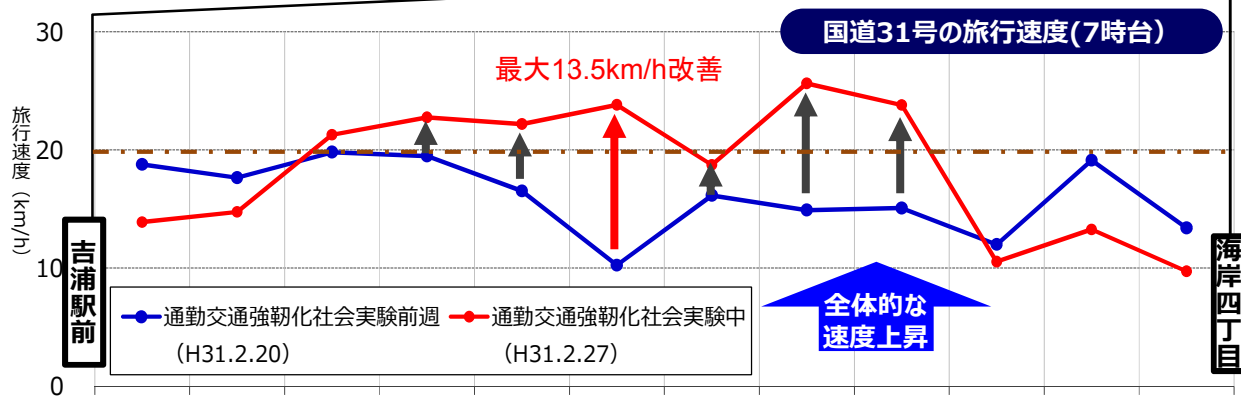
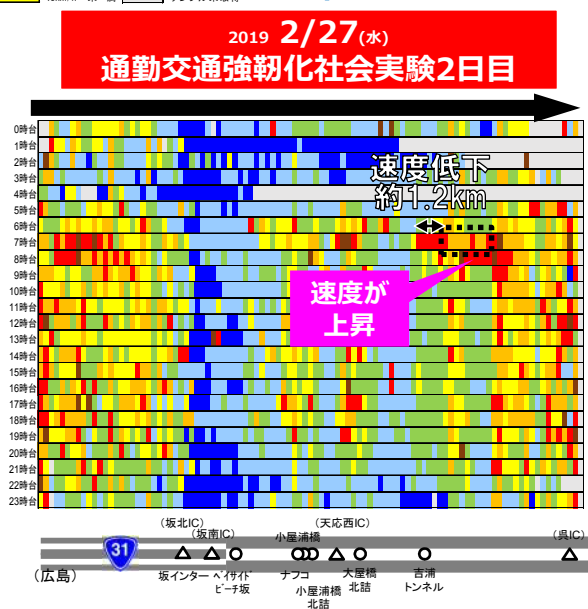
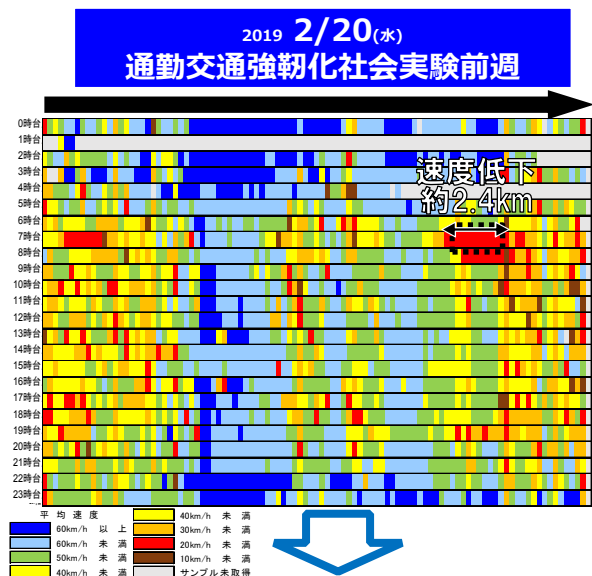
(資料) ETC2.07°0-7°情報(様式1-2)をもとに作成。国道31号を200m間隔で区切った区間で速度を集計。
注) 図中の速度低下延長は20km/h未満の連続する区間を積上げたもの。

●3日間の社会実験期間の中では、参加者数が最も多かった2/27(水)の広島→呉において速度の改善が大きい。



国道31号（吉浦駅前⇒海岸四丁目）の速度水準の変遷

- 速度改善が見られた2/27(水)の吉浦駅前~海岸四丁目の速度は、最大13.5km/h改善。



(資料) ETC2.0[※]のデータ情報(様式1-2)をもとに作成。国道31号を200m間隔で区切った区間で速度を集計。